

1 国語に関する調査

【特長】

- 資料を用いて、自分の考えをわかりやすく伝えることや、目的や意図に応じて、集めた材料を用いて伝えたいことを明確にすることが身に付いている。授業での話し合い活動の成果であると考えられる。
- 短答式の問題の正答率が高い傾向にある。対話的な授業を通して、限られた時間の中で端的に答える力が育成されている成果であると考えられる。

【課題】

- 問題形式が記述式になると、正答率が下がる傾向にある。自分の思考している内容を適切に言語化する力の育成が必要である。
- 文章と図を結びつけ、その関係を踏まえて内容を読み取る力に課題が見られる。論説文などを読み、理解したことを説明したりまとめたりする活動を通して、図表と内容の関係を理解する力の育成が必要である。

2 数学に関する調査

【特長】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかを問う問題について多くの生徒ができていた。
- 簡単な場合について確率を求めることができるかを問う問題では、比較的多くの生徒ができていた。授業の際、実際に実験をするなど、数学的な活動を充実させたことによる成果だと考える。

【課題】

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題について課題が見られる。授業において、関数や式を用いて、問題解決の方法を説明する活動をより充実させる必要がある。
- 事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことについて課題が見られる。観察や操作、実験などの活動を通して成り立つと予想される事柄を見いだし、その事柄が成り立つことを論理的に考察し、表現できるように指導する必要がある。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 道徳の授業などにおいて、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒が多い。
- 「学校に行くのは楽しい」「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」と多くの生徒が肯定的な回答している。今後も生徒のよいところを認め、ほめていくことを大切にしたい。

【課題】

- 「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人に相談することができる」と回答した生徒が少ない。学級経営の中で、生徒たちとの関わり合いを大切にする姿勢を担任が持つ必要がある。
- 「新聞を全く読まない」と回答した生徒の割合が高い。学校図書館などを活用して活字に触れる時間を増やす必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 学校教育目標を実現するために、生徒を主体とした授業づくりに取り組んでいる。互いに高め合える場面を増やし、習得した知識や技能を深い学びにつなげていく。
- 生徒が見通しを持って学習に取り組めるように各時間の学習目標を示すとともに、確かな学力の定着のために授業の最後に振り返り活動を行う。また、家庭学習の充実につなげられるように支援する。
- 引き続き安全で安心して生活でき、自己肯定感が高まるような学校生活を目指すとともに、道徳教育の充実を図っていく。
- 読書活動の推進に向けて、購入希望図書のアナケートを実施したり、図書だよりを通して新着図書を紹介したりするなど読書に親しむ機会を増やしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 子どもたちが地域の一員であることを継続して意識できるように、お子さんと共に地域の行事に参加するなど、ご協力をお願いいたします。
- インターネットやスマートフォンの扱いに関する家庭内のルールを確立する等、友達とのトラブルがないように様々な面でご対応いただきありがとうございます。今後も学校と保護者の方が協力していくことができれば幸いです。
- ニュースを一緒に見たり、時事問題や社会の出来事をご家庭でも話したりすることや今読んでおくとよい本の紹介など、活字に親しむ機会が増えるようにご協力をお願いいたします。社会や地域への関心を高め、心を豊かにする機会が増えるようにご協力をお願いいたします。